



# わかしお

糸魚川市立能生小学校  
学校だより NO. 6  
令和4年6月10日

## 自分の命は自分で守る！～6/1 第1回避難訓練実施～

土砂災害警報区域（地滑り）内にある能生小学校ですので、「大雨のためにグラウンド奥の山が崩れた」という想定で今年度1回目の避難訓練を行いました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、2回目（9月。兼引き渡し訓練）、3回目（1月）に予定していた避難訓練は中止でした。1年ぶりの避難訓練でしたが、子どもたちは真剣に避難しました。特に、避難場所の小体育館に集合してからは、170人がいるとは思えない静けさでした。子どもたちは、担当の尾崎教諭と校長の方をよく見て話を聞いていました。

初めて日本の避難訓練を見たALTのアイリスは、「Wonderful!」「Great!」と言っていました（アメリカの避難訓練はもっと賑やか）。以下に校長の話を紹介します。

避難をしなくてはならない災害は、「土砂災害」の他に、どのようなものがあると思いますか？

○地震 ○台風 ○津波 ○大雨 ○洪水 ○大雪 ○竜巻 ○火事 ○火山噴火

これらの災害があったとき、レベルによって、避難の言い方・仕方が1年前に新しくなりました。（下線部分を紙に書いて掲示）

### 【警戒レベル3 高齢者等避難】

避難に時間のかかる方（高齢者、障がいのある方等）は、危険な場所から避難

### 【警戒レベル4 避難指示】

危険な場所から全員が避難

### 【警戒レベル5 緊急安全確保】

安全な避難ができず命が危険な状況



さて、大きな災害があったとき、生き残れる人と、残念ながら生き残れない人に分かります。その違いについて、専門家が調べました。

まず、どちらの人も、最初は同じです。「これくらいなら大丈夫だろう!」という気持ちが強いようです。しかし、中に、「ここは危ないから逃げた方がいい!」と言う人が出てきます。どうやら、生き残れた人たちは、その言葉を聞き、「そうだな、これは危ない!」と思い、実際に行動した人たちです。「まだ大丈夫!」と思い続けた人や、避難が遅くなった人は、残念ながら助からなかったようなのです。

交通安全もそうですが、大切なことは、「**自分の命は自分で守る!**」です。そのためには、自分で考えて行動しなくてはなりません。今回、土砂が来るグラウンドに逃げたらどうなりますか?（ダメ!）火が出ている所に逃げるのは?（ダメ!）災害が起きている場所から遠い所に逃げるのが重要です。「おはしも」も守らなければいけません。

これで1回目の避難訓練は終わりますが、災害はいつ起こるかわかりません。学校でも家でも自分で考えて行動して、自分で自分の命を守り、これからもずっと輝いてください。



## 【避難訓練を終えた子どもの感想】

- 一瞬で命は奪われるものなので、これからも訓練をしっかりとやりたい。
- 今回は、大人の指示を聞いて避難したけれど、私もいつかは指示をする側になることもあると思う。今のうちに災害のことをよく知っておきたい。
- 話の中にあつた、残念ながら命が助からなかった側にならないように、「もしかしたら」と考えて、災害が起きそうになったら逃げようと思う。
- 今回は、土砂災害だったけれど、その他にもいろいろな災害がある。そして、災害はいつ起こるかわからない。命の大切さを学んだので、普段から意識していきたい。



## 6 / 2 プール清掃

4・5・6年生がとても一生懸命にプール内外をきれいにし、テントも出してくれました。

水泳授業は、各学年5回の予定で、21日

(火)から行います。限られた回数ですので、水着等の準備や、「水泳カード」への記入を忘れずをお願いします。



## 《7月の行事予定》

- 1日(金) 1学年 PTC 親子活動 5・6限
- 5日(火) ~ 7日(木) 能生小中高あいさつ運動(能生駅)
- 6日(水) 委員会⑤ 1学期反省 卒業アルバム学級・委員会写真撮影
- 7日(木) 児童集会③(図書委員会)、スクールカウンセラー来校日
- 8日(金) 同伴登校、学習参観(人権教育、同和教育授業)、学年懇談会
- 11日(月) 6学年 PTC 打合せ
- 12日(火) 地区児童会②
- 13日(水) 5限後下校
- 14日(木) 5限後下校、わかフレ班遊び②、4学年 PTC 親子活動(フォッサマグナミュージアム) 9:40~11:20
- 15日(金) 創立記念日(祝 能生小学校148歳)、5限後下校
- 18日(月) 海の日
- 20日(水) あいさつ強調デイ、クラブ②、卒業アルバムクラブ写真撮影
- 22日(金) 1学期終業式、給食後下校 ※8月26日(金) 2学期始業式